九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[002]鷹・鷹場・環境研究

https://hdl.handle.net/2324/1916288

出版情報：鷹・鷹場・環境研究. 2, 2018-03-20. 九州大学基幹教育院
バージョン：
権利関係：

〔編集後記〕

『鷹・鷹場・環境研究』２号をお届けいたします。本号では、研究会メンバーから論文２本、研究報告２本、書評２本、史料紹介２本、および大坪舞氏（佐世保工業高等専門学校講師）の特別寄稿論文を掲載することができました。相互の内容が隣接していて、とても充実した号になったと自負しております。古代から中世にかけての放鷹文化が連続または非連続する諸相のなかで、１６世紀後半から１７世紀前半にかけての鷹狩の大流行は、権威ある公家や上流の武家といった権力者のみならず、一般的な武士たちまでが鷹狩の知識や技術を共有化しているという文化状況を生み出し、それらの「知」をもとに鷹書が編まれたり、家職化をはかる鷹匠が展開していく過程があったりなど、さまざまに思いをめぐらすことができる豊かな内容です。これらの研究を環境分析へとつなげていくことが課題ですが、鷹研究の奥深さを改めて感じた次第です。ご多忙のなかご執筆いただきました皆様には、改めて心よりお礼申し上げます。

さて、科研２年目を終えました。本研究の大きな使命であった第１次モンゴル調査隊を無事に派遣することができました。鷹狩のルーツといわれるモンゴルの狩猟技術やそれが営まれる環境を実見できたことは、日本の鷹狩文化を考えていくうえで大きな示唆を得ることのできる貴重な体験でした。しかしながら、課題も残りました。モンゴルにおいて実際の鷹猟を体験するためには、冬が本格化する時期に調査に出向かなければなりませんが、日程調整の難しさを感じています。とはいえ、来年度のさらなる飛躍にむけて研究体制を充実させていきたいと考えています。ご意見・ご感想、また様々な情報など、ぜひともお寄せいただけますと幸いです（ち）。

鷹・鷹場・環境研究　Vol.2　2018年3月20日発行
編集　鷹・鷹場・環境研究会
〒819-0395　福岡県福岡市西区元岡７４４
九州大学基幹教育院福田研究室　Phone：(092) 802-6019
発行　九州大学基幹教育院
印刷　(株) ミドリ印刷
〒812-0016　福岡市博多区博多駅南 6-17-12　Phone: (092) 292-0300（代表）

The Journal of Hawks,Hawking Grounds,amd Environment Studies Vol.2
Published in March 20,2018
Edited by the Society for Hawks,Hawking Grounds, and Environment Studies
Office:3404, Faculty of Arts and Science, Kyushu University
744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395, Japan
E-mail:fukuda.c@artsci.kyushu-u.ac.jp Phon:+81 92-802-6019